
年越し

桜ノ宮 茨

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

年越し

【Nコード】

N7631P

【作者名】

桜ノ宮 茨

【あらすじ】

『ああ、今年も後わずかになったね』

ある年の年末にふと主人公である『塚口伊万里』（ツカグチ イマリ）が妹の月^{ツキ}に言ったこの一言が始まりだったーどこにでもいそうな姉妹の心温まる（？）話を書いています！！

(前書き)

—注意事項—

・これはあくまで短編です！なので、連載や続編の予定はないつもりです。

・コメディーを書いたつもりですが、オチがちゃんと成立していないかもしれません！そこはご了承ください。

・あくまでほのぼの！それに、どこにでもありそうなありきたりな話！

・当たり前のことですが、コメントや感想などに荒らしや中傷を書くのはご遠慮ください！！

・できればコメントをください！

以上のことを念頭において、ゆっくりとご覧くださいますえ！！

「ああ、今年も後わずかになったね」

「そうだね。月ちゃん」

そんな年末には特に当たり前に会話されていることを私こと『塚口伊万里』（ツカグチ イマリ）とその妹の月と話^{ツキ}していたところだった。

「ねえ、お姉ちゃん。お母さんに頼まれていたおせちの材料っとう、これだけだっけ？」

そう言うのと、妹は私にメモを手渡した。

「何々……、レンコンに黒豆・栗。ああもう、さっきのスーパーで買っているから大丈夫だよ！」

「そう？よかったー。じゃあ、早く家に帰れるね！」

妹は万遍の笑みでそう、言った。

何か微笑ましい光景である。

それから、少し歩いているといつも来ていた公園に着いた。

すると

「あ、猫ちゃんだ！」

そう言ったのは月だった。

「えっ、どこどこ？」

「ほら、あそこだよ」

指差すほうへ目を向けると、そこにはいかにも可愛らしい白猫がベンチの上で堂々と寝ていた。

「可愛いね」

「そうだね」

しばしそんな会話が続いた。

しかし当の猫は、ベンチの上であくびをして、私達に見られていることに気づいたのか、そそくさとどこかへ姿を消した――

その後に私達はそのベンチの上に座った。

しばらくして

「ねえ、月」

「なあに、お姉ちゃん」

「来年はどうなっているのかな？」

まだ、小学校3年生の妹にそう問いかけてみた。ちよっと小難しいかもしれないけど。

「ん？それって、どういう意味？」

「ああ、来年の自分はどうしているのかなあっていう予想だよ！」

「へ？そうなの？」

驚いたように言ってきた。

「なら、来年もおねえちゃんと一緒にいいな」

「えっ？」

唐突に言ってきた。

全くこれだから子供は……と、内心嬉しい気持ちがありながらもこう、言ってみた。

「じゃあ、来年は大学受験が受かるといいな」

「そうだね、受かるといいな！でも、お姉ちゃんは頭がいいから受かるよ」

「そう……かな？」

「そうだよ！」

何か、妹に背中を押されているのは気のせいだろうか。それと同時に体の心からホッコリと、温まってきたかも。

「よし、じゃあ帰ろうか」

「うん！」

こうして、無事に年を越していった。

ちなみに私の受験が無事に第一志望に受かったという吉報は実に昨日、わかったことだったのは言うまでもない。

(後書き)

今、連載中の『オタク的テクノロジー』の執筆の合間に書いた偶然の産物。

ちなみに今回は本当にありきたりな話ですので、本当に最後までつまらないです!! (ごめんなさい)

この作品ができた理由は『もう、そろそろ年末か』と私がふと、思ったからなんですけどね。(オイッ!!)

なので、即席小説です。(いや、言わなくてもわかるぞ)

皆さんは年末には何をしますか?

私は執筆活動および家事全般です!!

長々と書いてしまいましたが、よいお年を。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7631p/>

年越し

2010年12月31日22時06分発行